COMINET LIVE

Communication Network for Live

2004　盛夏　no. 29

有限会社
松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室
165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-102/203
TEL　03-3951-0703　FAX　03-5996-1370
URL：http://matsui-ikuo.jp
e-mail：ok@matsui-ikuo.jp

暑中お見舞い申し上げます
暑い夏こそ木組の家のよさが実感できる季節です

木組のデザインゼミナール開講中です！

「木組のデザイン」ゼミナールが、6月20日から開講しました。私家版仕様書研究会のメンバーによる、木組の家づくりを目指す設計者のためのゼミナールです。
受講生は、学生さんから設計キャリアの長い大先輩まで、総勢13名のアットホームな講義です。
講義は月1回、日曜日に行われ、講義の前日の土曜日に講師の現場見学会を行うのが定例です。
皆さん木組の現場見学会や美術講座のデッサンも初めてのことが多く、興味深く受講されていました。
7回終了後が楽しみです。
この講座から、一人でも多くの木組の理解者が育つことを願っています。

写真上）
美術講座で木片、グレープフルーツ、グラスをデッサンしている例。
構図や質感を出すのが難しい！

写真右）
事務所1階の机を囲んでわいわいと、木組の架構講義では、継手・仕口の実寸模型が飛び出しました。

◆ホームページも更新中◆
www.matsui-ikuo.jp　/　www.kigumi.jp

現在進行中

◆「鷹巣の民家再生」工事・竣工　　施工：おだ住建
裏面に**特集**です。ぜひご覧ください。

◆「能見台の家」新築工事・工事中　施工：横溝工務店
二世帯家族の家が8月の初めに完成します。玄関周りを板壁とし、落ち着いた佇まい。
近々見学会を予定しています。
林棟梁、現場監督鈴木さん、本当にお疲れさまでした。

◆「南長崎の家」新築工事・見積中
木造アパート兼用住宅です。
建て主さんの住居が中央に、賃貸部分が両サイドに並ぶ大きな木組の長屋です。
完成は来春初めの予定です。

◆「軽井沢の別荘」改修工事・工事中　施工：三信建設
ピアニストご夫妻の別荘が、もうすぐ完成します。既存の構造材と、新しい天井や床の白木のコントラストが美しく調和します。軽井沢はこれからがベストシーズン。
夏の休暇が楽しみですね。

◆「小平の家」新築工事・基本設計　施工：阿部建設+風基建設
若いご夫婦の自宅兼アトリエです。
会津の古木屋、小林さんの古材を使い、会津の阿部棟梁に建て方までをお願いする二段階施工。
8月に棟梁、建主さん、風基の渡辺さんの立会いのもと、解体された骨組の実測のため会津に行きます。

◆「Push-up」事務所改修工事・見積中　施工：渡邊工務店
デザイン事務所の内装です。建主さんは環境問題や社会貢献に意識の高いブックデザイナーで、自然素材の内装を希望されています。新しい事務所では広々としたRCのビルの内に、木の香り溢れる快適空間を計画中です。

ワークショップ「き」組

◆「国分寺の家」新築工事・工事中　施工：古民家工房
太い柱、古材の梁、薪ストーブ、瓦屋根等、建主さんのこだわりが随所に感じられるお宅です。
お盆の頃に完成で、見学会を予定しています。あとひとがんばり。
計画から完成まで、3年の歳月が流れました。

◆「江古田の家・Ⅱ」新築工事・工事中　施工：渡邉工務店
左官工事が済めば完成です。
8月下旬に見学会の予定です。
建主さん奥様はご出産で大忙し。
スリット廊下から朝日が射し込む素敵な空間になりました。
渡邊棟梁お疲れさまでした。

◆「北埼玉の家」新築工事・着工　　施工：萩原工務店
お待たせしました。いよいよ着工。先日地鎮祭が無事に行われました。萩原工務店さん、大河原木材さん、どうぞよろしくお願いいたします。

◆「中落合の家」新築工事・基本設計
2006年春完成予定なので、じっくりと打ち合わせさせていただいています。大黒柱を中心とした田の字型プランをベースにだいたい基本設計が固まってきたところです。

◆「川越の家」新築工事・基本設計　施工：綾部工務店
古い建物が多く建ち並ぶ川越市に計画中です。
町並みと調和し、建物に風格を与える土壁の予定です。
２階に広いフリースペースを設けました。生まれて間もないお嬢さんの成長を見守る家になります。

◆「所沢の家」新築工事・基本設計
トトロの森に囲まれた、緑豊かな敷地です。建主さんご夫婦は山の好きな自然派。子育てものびのびできそうです。若いご夫婦と小さなお子さんにぴったりのオープンでフレキシブルな間取りを提案中。

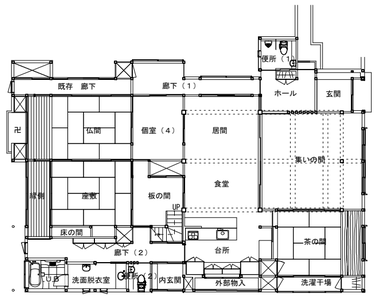
特集　「鷹巣の民家再生」

左上：集いの間に飛ぶ梁は何重にもなり圧巻。

左下：改修のイメージの元となったむかしの建具。
いまでは殆ど手に入らない味のあるガラスがはめ込まれて。奥に見えるのは差し替えた大黒柱。
おだ住建さんの技が光ります。

中上：存在感のある建物はむかし酒蔵でした。

右上：玄関の地覆には地元のシャクダニ石を使用。



1階平面図

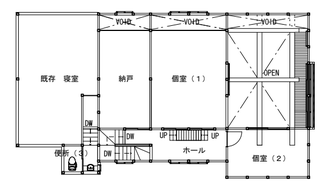
DATA

建築面積	251.85㎡(76坪)
1階床面積	251.85㎡(76坪)
2階床面積	124.30㎡(38坪)
家族構成	ご夫婦＋お母様＋お子様３人

鷹巣の民家再生

福井の150年前の民家が現代に甦りました。
建主さんの「この家を大切にしたい」という思いと伝統的な技を持つ職人さんたちの熱意の賜物です。
再生工事は、屋根瓦を乗せたまま柱や壁をやりかえるという、非常に施工技術の高いものでした。
伝統的な技術に長けた、おだ住建さんには丹念に仕事をしていただきました。
「集いの間」の吹抜には、むかしの茅葺の架構が出現し、訪れる人を圧倒します。
6月初旬に行われた完成見学会では完全予約制にもかかわらず100人以上の方が見学にいらしてくださいました。
これからもう100年、この家の成長が楽しみです。

施工：おだ住建
写真：奈良岡　忠



2階平面図